

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)		令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
観光部	観光企画課	インバウンド推進事業	11,500	11,500	ASPAC開催補助金	10,000	10,000	要求通り	—	1
観光部	観光推進課	堺観光コンベンション協会 事業補助	281,667	278,667	アフターコロナを見据えた誘客 事業	11,000	8,000	内容を精査	対象、規模等の精査	4
観光部	観光推進課	観光受入環境整備事業	20,316	4,116	デジタルデバイス等を活用した 旅ナカ情報発信	16,200	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	7
観光部	観光推進課	観光魅力創造・発信事業	28,550	22,900	堺の歴史文化活用等事業	9,500	5,850	内容を精査	対象、規模等の精査	10
スポーツ部	スポーツ推進課	スポーツ推進事業	76,022	76,022	地域スポーツ環境の充実	1,089	1,089	要求通り	—	13
国際部	国際課	多文化交流推進事業	16,354	16,354	「働くひとのための日本語教 室」の開催	570	570	要求通り	—	16

# 令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	新規・拡充
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	インバウンド推進事業		事業番号	008-005
担当部署名	文化観光	局	観光	部
			観光企画	課

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進	
		有	取組の方向性	①堺の歴史・文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	延べ宿泊者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	1,031,854人(2018年度)	目標値	1,400,000人(2025年度)	
		有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	ゴール(8)働きがいも経済成長も			
		無	現状値	ターゲット 8.9				
				—				
2	関連計画	堺観光戦略						
3	事業開始年度	平成 18 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、広域連携団体 (阪神堺三都市外客誘致実行委員会など)					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	外国人観光客					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	外国人観光客を市内へ誘客し、周遊・宿泊してもらうことで、市内の賑わいの創出及び消費拡大を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪観光局やKIX泉州ツーリズムビューローをはじめ、関西広域連合、関西観光本部、関西の府県・政令市等と連携した誘客プロモーション、メディアファムトリップなどによる海外への情報発信</li> <li>・令和4年5月に市内で開催予定であるASPAC (※) の大会開催に係る支援</li> <li>※国際青年会議所が主催し、堺高石青年会議所が主管するアジア太平洋地域 (22の国、地域) の国際会議</li> </ul>					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	阪神堺三都市外客誘致実行委員会 など					
10	公民連携・協働事業						

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度	
							令和2年度
11 市内外国人延べ宿泊者数	人	目標値	—	80,000	160,000	560,000	
		実績値	集計中	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	
当該指標を選定した理由	外国人の宿泊者増は、長期滞在や消費拡大に繋がると考えられるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	観光庁が公表する「宿泊旅行統計調査」の元データを二次利用し、大阪府が推計した暦年の数値 (大阪府観光統計調査)						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 関西の政令市と連携した誘客プロモーションの実施回数	回	実績	実績見込み	目標			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		目標値	0	5	5		
		実績値	0	4	—		
達成率	0%	80%	—				
当該指標を選定した理由	誘客プロモーション等の情報発信を強化することで、海外での認知度が向上し、誘客に繋がると考えられるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	阪神堺三都市外客誘致実行委員会と連携したプロモーション・情報発信の取組から算出						

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	インバウンド推進事業	事業番号	008-005
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	7,569	6,464	111	1,700	11,500
13 財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ( 基金 )					10,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	7,569	6,464	111	1,700	1,500

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	エクスカーション事業（国際イベント等の市内開催時におけるおもてなし経費）	R3	予算	200	200		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
	阪神堺三都市外客誘致実行委員会負担金	R3	予算	1,500	1,500		R3	予算		
		R4	予算	1,500	1,500		R4	予算		
	ASPAC開催補助金【新規】	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	10,000	0		R4	予算		
			R3	予算			R3	予算		
			R4	予算			R4	予算		
		R3	予算			R3	予算			
		R4	予算			R4	予算			

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人旅行者の誘客に向けた広域連携プロモーションの実施</li> <li>・近年のコロナ禍により激減したインバウンド需要の回復に向けた情報発信等の準備</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド需要回復状況の分析と、それに基づく情報発信等の強化</li> <li>・R4年5月に開催が予定されるASPACの大会開催支援</li> </ul>
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪・関西万博（R7年開催予定）等の好機により増加が見込まれる訪日外国人旅行者の本市への誘客に向けた広域連携プロモーション</li> </ul>

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド需要回復を見据え、関西の政令市等をはじめ、大阪観光局やKIX泉州ツーリズムビューロー等の広域連携による情報発信等の推進に必要な経費を要求。</li> <li>・国内外の参加者が多数見込まれているASPAC大会参加者の市内周遊や地域経済の活性化につなげるため、大会開催の支援に必要な経費を要求。</li> </ul>
----	---------	---

**R4年度予算要求額：11,500千円**

**新規** ASPAC開催補助金：10,000千円 ※一般財源の要求無し

## ● 取組概要

大規模MICEの開催による、本市の都市格の向上や都市魅力の発信機会の創出及び地域経済の活性化に資するものとして、大会開催に係る経費の一部を補助する

## ● ASPAC（アジア太平洋地域会議）について

- ・ 主催・主管：国際青年会議所（JCI）・堺高石青年会議所
- ・ 開催期間：R4年5月26日（木）～29日（日） 4日間
- ・ 開催場所：堺市内各施設（ホテルアコーリージェンシー大阪堺、フェニチ堺、大浜体育館）
- ・ 参加者見込：約7,200人（日本人6,000人、海外からの参加者1,200人）

## ● 期待される効果

- ・ 経済波及効果：12億円 ※観光庁が提供する「MICE簡易測定モデル」による試算
- ・ 2025年の大阪・関西万博など、日本を再び訪問する際のリピート来訪
- ・ 本市の都市魅力の国際的な発信及びイメージアップ

▶ 『堺市基本計画2025』に掲げるKPI（延べ宿泊者数）の達成に寄与

# 令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

<b>一般会計</b>		<b>要求区分</b>	新規・拡充
<b>事務事業名</b>	堺観光コンベンション協会事業補助	<b>事務事業分類</b>	A 一般事務事業
<b>担当部署名</b>	文化観光 局	<b>事業番号</b>	008-001
	観光 部		観光推進 課

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進	
		有	取組の方向性	①堺の歴史・文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	延べ宿泊者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	1,031,854人(2018年度)	目標値	1,400,000人(2025年度)	
		有	取組	ゴール(8)働きがいも経済成長も				
		寄与するKPI	有・無	指標名	ターゲット	8.9		
		無	現状値	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
			無	現状値	—	目標値	—	

### 事業の概要

2	関連計画	堺観光戦略		
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公益社団法人堺観光コンベンション協会事業補助金交付要綱		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	公益社団法人堺観光コンベンション協会		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺観光コンベンション協会が実施する観光宣伝事業、コンベンション事業、堺まつり事業への補助を通じ、同協会を含めた市内観光関連事業者との公民連携による堺のPR、観光誘客を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	堺観光コンベンション協会が実施する以下の事業に対して補助金を交付する。 ○観光宣伝事業 ・観光誘客イベントの開催や観光案内所の運営、パンフレットの作成等の実施 ○コンベンション事業 ・堺ホテル協会、大阪観光局等と連携し、スポーツ関連のセールス等を実施 ○堺まつり事業		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益社団法人堺観光コンベンション協会		
10	公民連携・協働事業	堺観光ボランティア協会による定点ガイドの実施		

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11	エリア別訪問者数 (大仙公園エリア・環濠エリア)	万人	目標値	—	(大仙)25・(環濠)160	(大仙)30・(環濠)200	(大仙)60・(環濠)300	
			実績値	(大仙)19.0・(環濠)171.4	—			
			達成率	—	—			
	当該指標を選定した理由	堺市基本計画2025及び堺観光戦略(令和3～7年度)で設定したKPI。						
	目標値の設定根拠・算出方法	上記計画において設定されている令和7年度のKPI達成に向けた年次目標として設定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		実績見込み		目標	
	堺観光ガイドでの情報発信 (ホームページ閲覧数)	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	2,419,000	2,054,000	2,090,000		
			実績値	1,866,962	1,900,000			
			達成率	77%	93%			
	当該指標を選定した理由	堺の歴史文化や観光資源をはじめとする魅力を分かりやすく発信しており、堺を観光する際の情報収集先として活用されているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績値の110%増を目標値として設定。						

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺観光コンベンション協会事業補助	事業番号	008-001
-------	------------------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	403,433	365,543	252,842	304,835	281,667
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ( )					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	403,433	365,543	252,842	304,835	281,667

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源				
		観光宣伝事業費【拡充】	R3	予算	227,629	227,629		R3	予算						
			R4	予算	201,810	201,810		R4	予算						
		堺まつり事業費【拡充】	R3	予算	70,000	70,000		R3	予算						
			R4	予算	75,000	75,000		R4	予算						
		コンベンション事業費	R3	予算	7,206	7,206		R3	予算						
			R4	予算	4,857	4,857		R4	予算						
			R3	予算				R3	予算						
			R4	予算				R4	予算						
			R3	予算				R3	予算						
			R4	予算				R4	予算						

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	—	要求額	—	

### Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	令和元年度に世界文化遺産登録された百舌鳥・古市古墳群をはじめ、堺ゆかりの人物を含む堺の歴史文化、伝統産業等堺の魅力的な観光素材の情報を発信し、観光客の周遊促進を行った。また、観光案内所の運営など来訪者の満足度を高めるおもてなしを行った。
	R4	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、観光や広域の移動が大きく制約された。令和4年度においてもその影響が残ることを想定し、当面の観光宣伝の対象として近隣圏の比重を高め、マイクロツーリズムを意識した展開を行う。また、にぎわい創出と感染対策の両立を前提に、市場の回復状況を見ながら、より広域への事業展開を行う。
	R5以降	観光市場の状況を注視しつつ、滞在時間の増加や消費拡大に向けた取組を行う。引き続き事業内容の精査、見直しを行う。あわせて、旅行商品の造成や会員数の増加など自主財源の確保を図る。

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	「財政危機宣言」「補助金見直しガイドライン」「外郭団体の見直しに向けた取り組み方針」をふまえ、各事業の見直しや精査を行い、補助金の縮減を行った。
----	---------	--

## R4年度拡充予算要求額：281,667千円

### **拡充** アフターコロナを見据えた誘客事業：11,000千円

#### ●背景

コロナ禍により大きなダメージを負っている飲食店や旅行事業者などへ消費を促進させるために、アフターコロナを見据えた事業の展開が必要となっている。

#### ●事業内容

- ・ 内川・土居川をイルミネーションで装飾し、河川敷にオープンカフェを展開。また、誘客イベントにあわせて、オープンファクトリーのような堺の伝統産業等のコンテンツを体験できる仕掛けを組合せ、市内への誘客及び周遊促進を図る。
- ・ イベントを安全に開催するためのコロナウイルス対策経費。

#### ●期待される効果

- ・ 環濠エリアのにぎわいの創出に寄与
- ・ 堺ならではの歴史文化や伝統産業を活かした観光コンテンツの磨き上げ
- ・ 想定消費額：約2,000万円

▶ 『堺市基本計画2025』に掲げるKPI（環濠エリアへの来訪者数）の達成に寄与

# 令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分		新規・拡充	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		観光受入環境整備事業		事業番号	
担当部署名		文化観光 局		観光 部	
				観光推進 課	

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進		
		有	取組の方向性	③感染症拡大などのリスクに備えた持続的な観光推進						
		寄与するKPI	有・無	指標名	延べ宿泊者数					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も		ターゲット	8.9		
		有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進						
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画		堺観光戦略							
3	事業開始年度		— 年度		終了(予定)年度		令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)									

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁							
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)		本市への来訪者および市民							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		来訪者が安心して快適に移動・滞在・観光することができる環境を提供することで、本市への訪問を促進するとともに、満足度を高め、リピーターの増加を図る。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の観光客が気軽に利用できる無料公衆無線LAN「Osaka Free Wi-Fi」の整備。</li> <li>大仙公園エリアにおける来訪者の快適性の向上のため、民間事業者による飲食・物販施設を整備。</li> <li>観光案内サインの新設、板面改修、多言語化、維持管理。</li> </ul> ※令和3年度からは「観光ネットワーク推進事業」を「観光受入環境整備事業」へ統合。							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		公益社団法人シルバー人材センター、NTTファイナンス株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社							
10	公民連携・協働事業		Park-PFI制度を活用した大仙公園内への飲食・物販施設の整備							

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 エリア別訪問者数 (大仙公園エリア・環濠エリア)	万人	目標値	—	(大仙)25・(環濠)160	(大仙)30・(環濠)200	(大仙)60・(環濠)300	
		実績値	(大仙)19.0・(環濠)171.4	—			
		達成率	—	—			
当該指標を選定した理由		堺市基本計画2025及び堺観光戦略(令和3～7年度)で設定したKPI。					
目標値の設定根拠・算出方法		上記計画において設定されている令和7年度のKPI達成に向けた年次目標として設定。					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 公衆無線LAN整備・維持管理箇所数(累計)	箇所	実績	実績見込み	目標			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		目標値	20	23	23		
		実績値	21	21			
達成率		105%	91%				
当該指標を選定した理由		来訪者がスマホ等で気軽に観光情報を獲得できるためのツールであるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		大仙公園エリア及び環濠エリアの主な観光施設の数より算出。					

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	観光受入環境整備事業	事業番号	008-077
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
国支出金					8,100
府支出金	3,413	14,396	2,000		
市債					
その他 ( 広告収入 )					660
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	7,397	22,115	11,315	3,199	11,556

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	通信運搬費	R3	予算	1,104	1,104	観光案内サイン新設・更新・撤去等業務	R3	予算	1,000	1,000
		R4	予算	1,021	1,021		R4	予算	900	900
	電気使用料	R3	予算	29	29	収塚古墳広場仮設土産物販売所撤去	R3	予算	0	0
		R4	予算	29	29		R4	予算	1,100	440
	Osaka Free Wi-Fi管理負担金	R3	予算	476	476	デジタルデバイス等を活用した旅ナカ観光情報発信事業【拡充】	R3	予算	0	0
		R4	予算	476	476		R4	予算	16,200	8,100
施設等修繕料	R3	予算	150	150	観光案内サイン等翻訳	R3	予算	60	60	
	R4	予算	150	150		R4	予算	60	60	
観光案内サイン維持管理業務委託	R3	予算	377	377		R3	予算			
	R4	予算	377	377		R4	予算			

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>Osaka Free Wi-Fiについて、令和元年度までに、大仙公園エリアと環濠エリアにおいて、大阪府の補助金の活用・交通事業者との連携により計21箇所新設することができた。</li> <li>令和2年度は、大阪府の補助金の休止に伴い新規設置は見送りとなった。</li> <li>Park-PFI制度によって民間資金を活用し、飲食施設を整備することができた。</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3年度に引き続き、観光案内サインやOsaka Free Wi-Fiなどの設備を維持管理する。</li> <li>Park-PFI制度によって、飲食・物販施設の整備が完了し、H29年度からR3年度末まで設置していた収塚古墳広場仮設土産物販売所を撤去する。</li> <li>デジタルデバイス等を活用した旅ナカ観光情報発信事業により、旅マエ、旅ナカの情報発信を強化し、来訪者の増加を図り、周遊を促進する。</li> <li>21階展望ロビーにおいて、民間資本を活用し、飲食機能の整備をするなどのリニューアルを実施することで、新たな魅力を作るとともに来訪者が快適に過ごることができる環境の整備に向けて取り組む。</li> </ul>
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>Osaka Free Wi-Fiの設置箇所を増やすなど既存事業を着実に実行するとともに、新たな技術やサービスを活用した来訪者がより快適に過ごせる受入環境を整備する。</li> </ul>

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルデバイス等を活用した旅ナカ観光情報発信事業 市内の観光スポットを案内する映像を制作し、各スポットでQRコードによる情報発信を行うことで、コロナ禍においても質の高い観光サービスの提供を行う。また、制作した映像はYoutubeにアップロードすることで、旅マエの情報発信にも活用する。併せてデジタルサイネージの設置及びWEBマップを作成し、旅ナカでの情報発信を強化することで、市内周遊を促進する。</li> <li>● 収塚古墳広場仮設土産物販売所撤去 Park-PFI制度によって、大仙公園いこいの広場に飲食・物販施設の整備が令和3年度中に完了するため、H29年度から設置してきた収塚古墳広場仮設土産物販売所を撤去する。</li> </ul>
----	---------	--

**R4年度予算要求額：20,316千円**

**新規** デジタルデバイス等を活用した旅ナカ観光情報発信事業：16,200千円  
(うち、一般財源：8,100千円)

## ●背景

旅行中（旅ナカ）において旅行者・来訪者が必要な情報を取得できるデジタルコンテンツを充実させるとともに、周遊を促す効果的な情報発信の仕組みを構築する。

## ●事業内容

- ・観光スポットへのQRコードによるデジタルガイドの設置
- ・観光・飲食・宿泊施設等WEBマップの作成
- ・デジタルサイネージやタブレット端末の設置

## ●期待される効果

- ・旅ナカにおける情報発信強化による周遊促進
- ・デジタルコンテンツによる観光スポット案内が可能になるなどのサービス向上
- ・デジタルコンテンツによる案内サービスによる感染症対策

▶ 『堺市基本計画2025』に掲げるKPI（環濠エリアへの来訪者数）の達成に寄与

# 令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分		新規・拡充	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		観光魅力創造・発信事業		事業番号	
				008-088	
担当部署名		文化観光	局	観光	部
				観光推進	
				課	

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進	
		有	取組の方向性	①堺の歴史・文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	延べ宿泊者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		寄与するKPI	有・無	指標名	-			
		無	現状値	-	目標値	-		
2	関連計画	堺観光戦略						
3	事業開始年度	-	年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、実行委員会					
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	本市への来訪者及び市民					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	「堺の歴史文化」を中心テーマに、新たな観光魅力の創出を図るとともに、広域かつ積極的な情報発信やプロモーションを実施し、本市イメージの定着と向上を図り、誘客促進による交流人口の獲得と都市魅力の向上をめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の湯文化や和菓子等、堺の歴史文化を活用した事業の実施</li> <li>・堺ナイトマーケットの開催</li> <li>・堺フィルムオフィスによる映像作品を通じた都市魅力の発信</li> <li>・歴史街道推進協議会、西高野街道観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会等への参画</li> <li>・観光庁やJNTOなど各種団体と連携した情報発信</li> <li>・全国工場夜景サミットを活用したPR</li> <li>・関西国際空港利用者を対象とした空港内での広告の掲出</li> <li>・大学との連携による多言語での観光情報の発信</li> </ul>					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺ナイトマーケット実行委員会、堺フィルムコミッション実行委員会、関西国際空港内広域観光案内推進協議会 等					
10	公民連携・協働事業	堺ナイトマーケット、堺フィルムオフィス及び大学との連携による多言語での観光情報の発信 等					

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和7年度
11 エリア別訪問者数 (大仙公園エリア・環濠エリア)	人	目標値	-	(大仙)25・(環濠)160	(大仙)30・(環濠)200
		実績値	(大仙)19.0・(環濠)171.4	-	-
		達成率	-	-	-
当該指標を選定した理由		堺市基本計画2025及び堺観光戦略（令和3～7年度）で設定したKPI。			
目標値の設定根拠・算出方法		上記計画において設定されている令和7年度のKPI達成に向けた年次目標として設定。			
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和7年度
12 堺市をロケ地とする撮影件数 (映画やテレビ番組等)	件	目標値	50	45	50
		実績値	45	-	-
		達成率	90%	-	-
当該指標を選定した理由		広くメディアを通じた堺市の魅力の発信状況が把握できる指標であるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績をもとに、コロナ禍においても現状水準を維持するものとして目標設定。			

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	観光魅力創造・発信事業	事業番号	008-088
-------	-------------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	13,480	15,383	30,273	30,602	28,550
13 財源内訳					
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 ( 国際文化観光基金 )					8,000
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	13,480	15,383	30,273	30,602	20,550

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	堺の歴史文化活用等事業【新規】	R3	予算	-	-	関西国際空港内広域観光案内推進協議会分担金	R3	予算	800	800
		R4	予算	9,500	1,500		R4	予算	800	800
	堺フィルムコミッション実行委員会負担金	R3	予算	3,000	3,000	歴史街道推進協議会会費	R3	予算	500	500
		R4	予算	6,000	6,000		R4	予算	500	500
	夜間賑わい創出事業負担金	R3	予算	6,700	6,700	国際観光振興機構会費	R3	予算	500	500
		R4	予算	4,000	4,000		R4	予算	500	500
	関西国際空港広告掲載料	R3	予算	2,760	2,760	竹内街道活性化実行委員会負担金	R3	予算	200	200
		R4	予算	1,524	1,524		R4	予算	200	200
	海外広報事業	R3	予算	864	864	その他 (負担金、需用費等)	R3	予算	15,278	15,278
		R4	予算	864	864		R4	予算	4,662	4,662

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R3まで	市内の歴史文化資源や観光スポットの魅力の創出及び発信を行ってきた。コロナ禍においては、一部の事業が中止・延期となったが、感染収束期における堺市での観光意欲を高めるために、オンラインでのイベント開催や観光情報発信に取り組んだ。
	R4	新型コロナウイルスの影響を踏まえながら、千利休と三好長慶の生誕500年や青年会議所の国際会議である「2022 JCI ASPAC堺高石大会」の市内開催などの機会を捉え、より多くの観光客の誘客と周遊促進に取り組む。
	R5以降	インバウンドの観光需要の回復及び大阪・関西万博等の機会を最大限に活かした観光誘客を図るため、観光魅力の創出と発信を実施する。

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>千利休と三好長慶の生誕500年をきっかけに堺の歴史や茶の湯文化に関心を持った多くの旅行者に訴求する取組を実施する。また、あわせて茶の湯文化とともに育まれてきた堺の和菓子を広くPRする。</p> <p>ASPAC開催時には、参加者及び関係者の市内での観光消費を最大限に促進するため、夜間賑わい創出事業として堺ナイトマーケットを同大会の会期中に実施する。</p> <p>事業の実施にあたっては、コロナ禍を踏まえ、短期集中型の集客イベントだけではなく、スタンプラリーや体験メニューなど、通年型で分散しながら観光する仕組みの構築を進める。</p>
----	---------	--

**R4年度予算要求額：28,550千円**

**新規** 堺の歴史文化活用等事業：9,500千円（うち、一般財源：1,500千円）

## ●背景

民間事業者や関係団体が実施する千利休や三好長慶の生誕500年に関する事業と連携し、堺の歴史や茶の湯文化に関心を持った多くの旅行者に訴求する取組を実施する。

## ●事業内容

茶の湯文化の次世代への継承、わび茶を大成した千利休が生まれたまちとしての情報発信による誘客効果の獲得に向けて、高校生向けの企画や主要駅での来訪者のおもてなし企画などを実施する。

あわせて茶の湯文化とともに育まれてきた堺の和菓子を広くPRする事業を実施する。

## ●期待される効果

- ・ 環濠エリアのにぎわいの創出に寄与
- ・ 堺ならではの歴史文化や伝統産業を活かした観光コンテンツの磨き上げ
- ・ 想定消費額：約2,370万円

▶ 『堺市基本計画2025』に掲げるKPI（環濠エリアへの来訪者数）の達成に寄与

# 令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分		新規・拡充	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		スポーツ推進事業		事業番号	
				008-091	
担当部署名		文化観光	局	スポーツ	部
				スポーツ推進	
				課	

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(7)生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	
		寄与するKPI	有・無	指標名	①スポーツ・運動習慣定着による健康増進		スポーツ・運動習慣者割合 (1回30分以上の運動を週2回以上行う者)	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		寄与するKPI	有・無	指標名	健康寿命		男性：71.46年、女性：73.60年(2016年度) 目標値 男性：73.20年、女性：76.20年(2023年)	
2	関連計画	堺市スポーツ推進プラン						
3	事業開始年度	昭和 22 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則						

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体						
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	市民、スポーツ推進委員 (約120人)						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>①総合型地域スポーツクラブ 既存クラブへの支援及び主催イベントへの講師派遣協力を実施。</p> <p>②堺市民オリンピック 市民スポーツの祭典として、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図ることを目的に、毎年スポーツの日に実施。市内各地域から約6,000人が参加。</p> <p>③トップレベルチームとの連携 堺プレイヤーズ、オリックスバファローズ、セレッソ大阪等のトップレベルチームと連携し、(公財)堺市教育スポーツ振興事業団や総合型地域スポーツクラブ、地域団体が実施するスポーツ教室に講師を派遣。また、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供するため、各チームの公式戦において、市民優待観戦企画を実施。</p> <p>④スポーツ推進委員 地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っており、その資質向上を図るため、各種研修や主催大会を実施。</p>						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(公財)堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ						
10	公民連携・協働事業	総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催						

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	
	学校施設など地域でスポーツ活動をしている人数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
			目標値	-	27,500	28,000	35,000
			実績値	-	27,500		
達成率	-	100%					
当該指標を選定した理由		学校施設や公民館などでスポーツ活動をしている人数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため。(令和3年度よりスポーツ推進委員に対し調査を実施する)					
目標値の設定根拠・算出方法		令和7年度までに活動人数を3割増加させることをめざし、各年度の目標値を設定					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
	体力測定会の実施企業・団体数	団体	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			目標値	-	25	50	
			実績値	-	-		
達成率	-	-					
当該指標を選定した理由		体力測定会は、運動不足や耐力低下に気づき、習慣的に運動・スポーツを始めるきっかけになるものであり、市内の企業・団体で取組が広がることが、運動・スポーツ習慣化率の向上に寄与すると考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		R7年度に市内の100人以上の規模の事業所の50%以上の事業所で体力測定会が実施されることを目標に、各年度の目標値を設定。					

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 (日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金)	8,080	42,365	1,696	10,344	8,184
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	77,367	70,656	49,485	69,776	67,838

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費	
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源
14	(公財) 堺市教育スポーツ振興事業団補助金	R3	予算	31,624	堺市学生スポーツ競技大会出場	R3	予算	3,000
		R4	予算	31,198	奨励金	R4	予算	3,000
	堺市民オリンピック開催負担金 (コロナ対策費含む)	R3	予算	16,220	総合型地域スポーツクラブ自立・設置・創設支援補助金	R3	予算	7,344
		R4	予算	15,280		R4	予算	5,184
	堺プレイガーズ市章等掲載料	R3	予算	4,000	新大浜体育館魅力創出事業	R3	予算	2,000
		R4	予算	4,000		R4	予算	2,000
	セレッソ堺レディースユニフォーム市草掲載料	R3	予算	3,000	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク負担金【拡充】	R3	予算	500
		R4	予算	3,000		R4	予算	1,000
	堺市スポーツ協会事業補助金	R3	予算	3,303	その他	R3	予算	9,129
		R4	予算	3,303		R4	予算	8,057

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月 『堺市スポーツ推進プラン』策定 (計画期間：令和3年4月～令和8年3月)</li> <li>・堺市民オリンピックの開催 (令和2,3年度は中止)</li> <li>・スポーツ推進委員研修会の開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援</li> <li>・堺プレイガーズと連携した大浜体育館のPR事業</li> <li>・トップレベルチームと連携したスポーツ教室の実施</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツやニュースポーツの普及体験事業実施</li> <li>・堺市民オリンピックの開催 (レクリエーション種目の試行実施)</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの支援 (人材育成、運営支援を拡充)</li> <li>・堺プレイガーズと連携した大浜体育館のPR事業</li> <li>・アウトリーチ型体力測定会の試行実施 (ゼロ予算事業)</li> </ul>
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドマスターズゲームズ2021関西開催 (予定)</li> <li>・堺市民オリンピックの実施 (適宜見直しを実施)</li> <li>・スポーツ推進委員と連携した地域スポーツ活動の振興</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの支援</li> <li>・トップレベルチームと連携したスポーツ教室の実施</li> </ul>

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>○財政危機脱却に向け、既存事業や補助金の内容を見直し ・(公財)堺市教育スポーツ振興事業団補助金等、予算の見直しを行う。</p> <p>○新規・拡充事業については、既存の事業の見直しや原則ゼロ予算で実施 ・総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク負担金について、総合型地域スポーツクラブの人材育成・運営を支援するため、クラブマネージャー資格取得に係る費用の助成及びクラブが主催する会員獲得イベントへの講師派遣等を拡充して実施する。</p> <p>・パラスポーツやニュースポーツを通じたスポーツへの関心向上を目的に、子供向けの体験会を実施する。 ・企業向けのアウトリーチ型体力測定会を実施する (ゼロ予算事業)。</p>
----	---------	--

**R4年度予算要求額：76,022千円**

**拡充** 地域スポーツ環境の充実：1,089千円（R3年度予算額589千円）

## ● 取組概要

- ・総合型地域スポーツクラブの運営及び創設の支援
- ・地域のスポーツ活動を支えるスポーツ推進委員への研修会実施

## ● 拡充内容

既存の総合型地域スポーツクラブの安定した運営や、クラブの新設を希望する団体を支援するため以下の取組みを新たに実施する。

- ・人材育成支援（クラブマネジャー養成講座受講支援 等）
- ・活動支援（会員獲得イベント開催支援 等）
- ・創設支援（創設支援アドバイザーの派遣 等）

## ● 期待される効果

- ・地域スポーツ環境の充実により、身近な地域でスポーツや運動を実施する人数が増加する。

▶ 『堺市基本計画2025』に掲げるKPI（スポーツ・運動習慣者割合）の達成に寄与

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	多文化交流推進事業			事業番号	008-025
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
		有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	文化施設の利用者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	1,049,822人(2019年度)	目標値	1,500,000人(2025年度)	
		有	取組	外国人との共生、多文化理解の促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思ふ人の割合			
有	現状値	31.2%(2019年度)		目標値	35.0%(2023年)			
2	関連計画	堺市国際化方針						
3	事業開始年度	平成 7 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	日本語教育の推進に関する法律、地域における多文化共生推進プラン (総務省)、堺市立多文化交流プラザ・さかい条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間国際交流団体				
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	外国人市民および国際交流・多文化共生を推進する市民および団体・機関等 (約1万4千人)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	異なる文化的・歴史的背景を持つ人々が、様々な違いを認め合いながら、地域社会を支える担い手として活躍し、安全で安心して暮らすことができる多文化共生の社会をめざす。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	多文化共生社会の実現に向けて、堺市立多文化交流プラザ・さかいを拠点とした以下の事業を実施 ■外国人生活支援の推進 (主なもの) ・国際ボランティア活動・交流の推進 (通訳、日本語指導、ホストファミリー) ・外国人相談業務 (生活相談窓口: 11言語対応、電話相談: 8言語対応) や行政書士相談 (毎月第3水曜日)、オンライン弁護士相談 (奇数月) ・入門レベルの日本語教室開催及び民間団体運営の地域日本語教室への支援 ・災害時外国人支援(防災訓練、ガイドブック発行など) ・堺市留学生実行委員会加盟大学の留学生への交流支援 ■堺市立多文化交流プラザ・さかい管理運営				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	補助金: 市内の地域日本語教室、負担金: 堺市留学生交流事業実行委員会				
10	公民連携・協働事業	地域日本語教室などボランティア等と協働で事業を実施。				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和7年度	点検年度
11 外国人生活相談件数 (ボランティア通訳派遣依頼数含む)	件	目標値	600	600	600	600
		実績値	539	520		
		達成率	90%	87%		
当該指標を選定した理由	外国人市民の相談に対応することが、日常生活支援の充実を図る指標となるため					
目標値の設定根拠・算出方法	過去相談件数の実績値					
12 日本語教室 (補助金対象) のボランティア指導者数	人	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度		
		目標値	200	200		
		実績値	141	131		
		達成率	71%	66%		
当該指標を選定した理由	日本語教室の運営は日本語指導ボランティアが支えており、「生活者としての外国人」の日本語を学ぶ環境を図る指標であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	概ね2人の学習者に対し1人の指導者が就くため、日本語教室に通う外国人学習者数の1/2で算出する					

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	多文化交流推進事業	事業番号	008-025
-------	-----------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	25,003	26,377	23,833	26,112	16,354
13 財源内訳					
国支出金		4,353	2,475	1,194	1,069
府支出金					
市債					
その他 (自治体国際化協会助成金)					1,291
受益者負担金(使用料、手数料等)	9	56			
一般財源	24,994	21,968	21,358	24,918	13,994

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	堺市立多文化交流プラザ・さかい建物借上料 (梓)	R3	予算	7,837	7,837	働く人のための日本語教室事業	R3	予算	0	0
		R4	予算	5,463	5,463		R4	予算	570	29
	堺市立多文化交流プラザ・さかい会議室等管理業務委託料	R3	予算	2,288	2,288	堺市立多文化交流プラザ・さかい通信運搬費 (梓)	R3	予算	737	737
		R4	予算	2,247	2,247		R4	予算	446	446
	民間非営利団体による日本語教室開催事業補助金	R3	予算	1,800	1,800	災害時外国人支援事業	R3	予算	40	40
		R4	予算	1,800	1,800		R4	予算	256	151
	堺市立多文化交流プラザ・さかい其他負担金共益費	R3	予算	2,028	2,028	外国人相談事業	R3	予算	460	230
		R4	予算	1,041	1,041		R4	予算	250	125
	外国人相談事業	R3	予算	782	391	印刷製本費 (梓)	R3	予算	10,140	9,567
		R4	予算	847	424		R4	予算	3,434	2,268
						その他 (消耗品費等)				

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導ボランティア向け研修会の実施</li> <li>・地域日本語教室への支援</li> <li>・国際交流プラザの管理運営の継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入門レベルのための日本語教室の開催</li> <li>・「やさしい日本語」の普及促進</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導ボランティア向け研修会の実施</li> <li>・地域日本語教室への支援</li> <li>・「やさしい日本語」の普及促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入門レベルのための日本語教室の開催</li> <li>・働くひとのための日本語教室の開催</li> <li>・多文化交流プラザ・さかいの管理運営の継続実施</li> </ul>
	R5以降	事業の継続	

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>令和4年度は新たに、就労に関わる在留資格が増加している背景を受け、外国人労働者が職場でのコミュニケーションを円滑に図れるようになることを目的に、外国人労働者を対象とした日本語教室である「働く人のための日本語教室」を新たに開催するための経費を計上する。日本語学習支援の拡充にかかる経費は(一財)自治体国際化協会の助成金を活用する予定である。</p>
----	---------	--

## R4年度拡充予算要求額：16,354千円

### **拡充** 「働く人のための日本語教室」開催：570千円

#### ●背景

在留資格「特定技能」の創設など、近年、労働者としての外国人受入が進む中、本市の日本語教室は、平日昼間に開催していたため、外国人労働者の参加が困難であった

#### ●事業内容

- ・「働く人のための日本語教室」（全10回）を平日夜若しくは日曜昼間に開催
- ・日常生活ではなく、職場で使うような日本語に特化した講座
- ・外国人向けの日本語学習に知見がある企業・団体のノウハウを活かした教材を製作・活用
- ・日本語指導ボランティアの協力を得て教室を運営

#### ●期待される効果

- ・日本人労働者と職場内で良好な人間関係を築くことができる
- ・外国人労働者が自らの能力を発揮できる環境が整えられる
- ・職場や生活の場での不安の解消につながる